
あのととき（体験発表）

きりもんじ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あのとぎ（体験発表）

【Nコード】

N4908Q

【作者名】

きりもんじ

【あらすじ】

法華経の信心を始めてからの37年を振り返りました。

入信、失明、出産、起業、離婚、倒産、自己破産そしていま・・・とても長い体験発表です。

入信37年

皆さんこんばんわ！

私は京都右京栄光区太秦本部蜂が岡支部の副支部長松林治と申しま
す。

1974年に入信して今年で37年になります。

この間にとても信じられない大きな出来事が4つありました。
入信して100日目に車で電信柱に激突片目を失明しました。

その7年後に離婚。その7年後に共同設立した会社が倒産。
この後独立して自分の会社を設立。

その7年後にそれも倒産自己破産。そして今京都の映画村に来て
テナント『切文字屋』が16年を迎えました。

失明、離婚、倒産、自己破産をのりこえ

『切文字屋きりもんじ』は世界へ向けて発信しています。

2006年からは毎年中国に仕入れに行き人脈も増えました。
小説シナリオもこの年から書き続け今33冊になりました。

これからも池田先生の遺言どおりに中国に行き続け、
小説も死ぬまで書き続けてまいりたいと思っています。

事故で失明

37年前、車でヨーロッパを旅してたころ（約3年間）西ドイツのデュッセルドルフで初めてS学会のことを知りました。広宣流布と書いたりユックを背負った若者をヒッチハイクで車に乗つけたからです。

会館で出たばかりの人間革命第4巻をむさぼり読みました。これだこれだ！

日本に帰ってすぐに入会。妻はしぶしぶでした。

「まじめにやってるはずなのに三障四魔は起こらないじゃないですか？」

と先輩に食って掛かっていた矢先。酔っ払い運転で電柱に激突。

右目を失明しましたが間一髪で一命は取り留めました。

同じ日に担ぎ込まれたスケート場で転倒した学生は翌晩死亡。

その家族の泣き声が夜遅くまで耳に残っています。

『私は生き延びた。これには深いわけがあるはずだ。

これが三障四魔か？転重軽受か？』

必死で題目を上げ続け、医者は3ヶ月入院と言ったのをなんと2週間で退院しました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4908q/>

あのと看（体験発表）

2011年6月6日06時22分発行